

神戸医療福祉専門学校中央校 学校関係者評価委員会 会議資料

【令和7年6月14日実施】

令和6年度自己点検自己評価(令和6年4月1日～令和7年3月31日)による

評価委員氏名【 】

項目	点検項目	自己評価	自己点検	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評 価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	
1 教育理念・目的・育人人材像	1-1-1 理念・目的・育人人材像は、定められているか	4	教育理念・目的・養成人材像は、明文化されており、事業計画に目標・方法等を具体化している。会議や研修等においては、理念等の徹底をしている。常に業界とのコミュニケーションを図り、産学協同での教育を心がけている。業界が求める人材像を明確にするとともに、教科目標・教育課程・授業計画等の策定に活用している。事業計画では「地域連携」「業界との連携」を掲げ、特徴ある教育プログラムを構築し、変化する社会に対応するために、中・長期の事業計画を策定し、毎年見直しをしている。今後は、教育をとり巻く環境変化や学生の質的变化に対応するため、地域における活動や業界との連携を深めつつ、カリキュラムにはキャリア教育の実践を盛り込んだ内容を加え、さらなる職業人教育の質を高めていく。	職業人教育を通して社会に貢献することをミッションとし、3つの建学の理念(実学教育・人間教育・国際教育)の実践、4つの信頼(学生、保護者からの信頼・高等学校からの信頼・業界からの信頼・地域からの信頼)を得られる様に学校運営する中で、各業界のニーズに即した人材育成を行っている。	4	・異議なし ・特になし ・ニーズに合った人材育成を行っている。これからもお願いします。 ・少子化の中志のある学生を集め理念やミッションに沿った教育を実践されています。堅実な人材育成をされていると思います ・不易な部分と流行の部分を明確にして対応されているところは、適切であると考えます ・明文化された教育理念、目的、育人人材像に基づき、事業計画、カリキュラムが策定、整備されており、学校運営に携わる全職員に共有され、取り組んでいる
	1-1-2 育人人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか					
	1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか					
	1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか					
2 学校運営	2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4	法人としては、事業計画・運営方針を定めることを重要視している。運営方針は学校事業計画書に理念、目標、具体的な計画等と関連づけて明文化している。	事業計画の構成は組織目的(普遍的に学校が目指す開校、組織運営の目的)、運営方針(中期的に組織として目指す方針)、実行方針(中期的な組織の運営方針を実現する為の単年度の方針)、定量的目標(入学者・教育成果<中退防止・国家試験合格数>・就職率等)、定性的目標(人材育成や組織のあり方等単年度目標)、実行計画(その方針を実現させる為の具体的な計画)、組織図、職務分掌、部署ごとの計画・スケジュール、意思決定システム、収支予算書(5ヵ年)で毎年作成している。	4	・異議なし ・特になし ・運営方針を定めている ・事業計画、運営方針を明確に定め関連した諸計画や書類などを適切に整備されています ・将来を見据えて計画性のある運営に取り組んでおられることが窺えます ・明文化された教育理念、目的、育人人材像に基づき、事業計画、カリキュラムが策定、整備されており、学校運営に携わる全職員に共有され、取り組んでいる
	2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか		毎年、業界のニーズに対応した事業計画・運営方針を作成するように努め、明文化された事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての教職員が理解した上で各業務に取り組んでいる。			
	2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	4	運営のための組織図・職務分掌・会議の目的と主催者(決定権者)は事業計画に含まれており、会議・研修でも共有している。会議、委員会等の議事録は開催毎に作成し、関係者に共有をしている。組織運営のための規則・規定を設け、運用に不足がある場合は、運営会議で検討し改正を行っている。	職員の職場に関するアンケートやストレスチェックを実施。職場安全推進委員会も発足し、職場環境の整備にもあたっている。理念、目標の理解度や、職場満足度、各自の希望などの項目でアンケートを取り、その結果を受けて職場環境の改善にも着手している。学校運営に必要な組織体制は整っており、今後も各部署間連携を活性化し可視化する。	4	・異議なし ・特になし ・可視化、透明性があり良いと思う ・職場環境についての職員アンケートは素晴らしい取り組みだと思います。結果の反映をひとつひとつお願いしたいと思います ・安全衛生面についてもしっかりと配慮が行き届いていると感じます ・組織体制、各種制度が適切に機能しており、問題は見当たらない
	2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか					
	2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか		人事・給与に関する制度も就業規則に明示されている。			
	2-6-1 意思決定システムを整備しているか	4	意思決定システムは事業計画において明文化しており、諸会議の位置づけについても明記されている。意思決定を行う会議の進め方、結果の取り扱いを重視し会議毎に参加者は選抜され、その中で主催者に権限は委譲されている。	月に一回、運営会議・全体会議・学科＆広報会議を実施。また目的に合わせて随時会議を開催している。問題解決サイクル(問題発見⇒問題分析+仮説立案⇒対策立案⇒実行⇒検証)を回していることが意思決定プロセスを効果的に活用できている。また学校運営を円滑に進めるに、教職員のスキルに応じた各種研修プログラムに積極的に参加し、チーム組織全体の底上げを図っている。	4	・異議なし ・特になし ・出来ている ・学内での会議を定期的に運営し、情報の共有並びに意思決定を手順をふんで行っておられると思います ・PDCAサイクルをまわし、体制の整備をしっかりと図っておられることが窺えます ・組織体制、各種制度が適切に機能しており、問題は見当たらない
	2-7-1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	4	システムは、学生・入学者・卒業生・実習先・就職先等の対象別、教務・就職・広報等の業務別において幅広く導入されている。学校セクション毎の情報システム化、学生の情報の管理、その結果としての業務の効率化が推進されている。	業務の効率化と同時に、学生一人ひとりの情報を一元管理することにより、学生への様々な支援や求められる人材の養成や国家資格取得に結びつけることが出来る。その学生支援の精度を今後更に高める必要性から、DX推進にも着手し、安定してきた現状である。、授業の補助教材として配布資料と動画、小テストの実施なども提供しており、出欠状況は本人並びに保護者等にも随時確認頂けるシステムを稼働している。	4	・異議なし ・特になし ・学生のよりよい支援が出来るシステムができています ・ICT化により業務効率化や時短につながりより良い学びそして労働の環境になると思います ・DX化の推進は必至で、様々な分野での優位性の確保に不可欠です。ランニングコストがかかることも否めませんが、さらなる進展を期待します ・組織体制、各種制度が適切に機能しており、問題は見当たらない

3 教育活動	3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4	厚生労働省による「介護福祉士養成施設指定規則」、「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設指定規則」に従い教育課程の編成方針、実施方針を定めている。編成方針や実施方針はディプロマポリシー（DP）やカリキュラムポリシー（CP）に反映させている。 修業年限に応じた教育到達目標については科目間の関係性を重視し、カリキュラムマップを作成し明確にしている。	修学2～3年間の流れや目標（教育課程）を入学前教育時から説明し、各学年時における授業開始前のオリエンテーションにて修学2～3年間、各学年時の目標を説明している。	4	・異議なし ・特になし ・目標設定が出来ている ・入学時の気持ちやモチベーションが最後まで継続するように細やかなフォローが大切だと思います ・計画性のある教育課程の編成や到達目標の設定については自信が感じられます ・適切に実践、運用がなされている
	3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか					
	3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4	厚生労働省による「介護福祉士養成施設指定規則」「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設指定規則」に従い教育課程の編成をしている。 将来、業界から求められる人材に必要な知識・技術の養成についてステップアップ（階段式）形態で初年度（1年次）より段階を経て基礎から応用実践までを編成している。	近年、カリキュラムに各校独自の特色を出すことも望まれており、各学科ともに総合演習や実技指導などにて卒業生の出講や、業界また他業種の方々により講義を実施している。 初年次においては、専門教育への動機づけと準備性を高める為、他学年との合同授業を行うなど、1週間程度の導入教育を実施している。	4	・異議なし ・特になし ・教育目的に沿った授業が行われている ・最終的な目標に向かってカリキュラムに趣向をこらし工夫しながら進めておられると思います ・適切に実践、運用がなされている
	3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか					
	3-9-3 キャリア教育を実施しているか	4	業界団体の学会・会合等への参加、業界開催の研修内容等の把握より業界や社会のニーズの把握に努め、教育に反映させている。 学校関係者評価委員構成メンバーのうち保護者や業界団体からの意見を聴取し、学校及び学科にて協議している。	社会的ニーズを教育内容に反映させるため、講義・演習にて卒業生の講義や実技指導などを積極的に実施している。 卒業生の勤務先で求められている知識・技能について卒業生との交流にて情報収集を行っている。 現行の教育課程において概ね良い評価を頂いている。 定期的に開催される評価委員会や業界団体等からの意見や社会的ニーズを卒業生などから聴取し、教育課程への反映を検討したい。	4	・異議なし ・特になし ・業界からのニーズを教育に反映されている ・卒業生として職員を派遣しているが卒業生にとってもよい刺激、学びとなっていると感じます ・外部からの意見や助言を傾聴され改善や進展に反映されていることが大いに評価できだと思います ・適切に実践、運用がなされている
	3-9-4 授業評価を実施しているか					
	3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4	キャリア教育に対する考え方やフレームを「キャリア教育ロードマップ」として作成し、キャリア教育に取り組んでいる。 実習や学外研修で職業人としての自覚や態度を涵養しつつ、専門知識・技術を生かすためのコミュニケーション能力、問題解決能力を身につける指導を実施している。	働くための知識・技術と社会人基礎力を踏まえたキャリア教育の充実が求められている現在、コミュニケーション能力は重要なポイントであると考えている。実習前後や普段より個別面談を実施し、振り返りを行うことで教育効果を上げている。特にコミュニケーション能力に問題がある場合はその状況（状態）の把握、学生自身によるその状況の認識、それによって発生する問題点、改善方法、目標を提示しながら進めることで、一様の成果が現れるケースもある。 キャリア教育の目的である社会的・職業的自立に必要な資格取得や対人援助職としてのコミュニケーション力などの基盤を実習や演習など様々な場面に設定し教育を行っている。	3.8	・神戸医療に限らず、免許取得後、5年、10年、20年先のキャリアが見えていない人材が多いと思う。免許取得後だけではなく、先を見越したキャリアを提示する機会をもう少し増加させてはどうか。 ・異議なし ・特になし ・ふり返りを行うことで問題点や改善点を見つけることが出来ている ・一般大学と違い将来の目標や資格が明確でありキャリア教育をしっかりと実践され職業人育成を果たしておられると思います ・組織内外でのコミュニケーション能力アップへの取り組みを計画的に着実に実施されていると考えます ・適切に実践、運用がなされている
	3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか					
	3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4	学期終了時に科目毎に授業に対するアンケートを実施している。アンケートは科目担当者へフィードバックし、より質の高い教育を目指し反映させている。	評価委員会でのご意見を踏まえ、講師を含め、授業評価を実施している。 また、アンケート結果については非常勤講師へもフィードバックを行い、質の向上を図る。	4	・異議なし ・特になし ・フィードバックを行ってください ・生徒アンケートのフィードバックは良いことだと思います ・継続的な実施と検証を期待します ・適切に実践、運用がなされている
	3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか					

4 学修成果	3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4	「介護福祉士養成施設指定規則」、「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設指定規則」の規定に基き教員人数は充足している。新入職の兼任教員には、グループ校で講師研修、専任教員はFDマイクロレベル研修や公開授業を実施して、スキルアップを図っている。専任教員においては国家試験対策研修会など様々な研修会への積極的な参加を促している。	4	教育力向上に向けて、学園グループのFD研修(ミドルレベル・マイクロレベル)を受講し、より質の高い教育を目指していきたい。専門性が高く、幅広い医学的知識を必要とするため関連セミナーや学会への参加を促している。教育理念を達成するために学科事務局組織を編成し、会議を実施し体制を整備している。また年度初めには各部署にて事業計画を作成し共有することで組織運営を実施している。	・教育力向上にむけて先生方がたゆまぬ努力をされていることが伝わってまいります ・教員の教育力向上やスキルアップへの取り組みをしっかりと継続的に行っていることを理解しました ・教育の資質向上に与する様々な施策、取り組みを行っている
	3-12-2 教員の資質への取り組みを行っているか					
	4-13-1 就職率の向上が図られているか	4	卒業生の就職内定率について、令和6年度介護福祉士科は100%(100%)、鍼灸科は100%(100%)という結果を残している。()内は令和5年度	4	常に学生が求める就業先からの求人を得るために求人依頼を発送し、学生との面談を実施して希望就業の把握に努めている。常に学生が求める就業先からの求人を得るために求人依頼を発送し、学生との面談を実施して希望就業の把握に努めている。施設見学や就職イベントへの参加を積極的に実施し、働くということ、就職活動を行うことへの意識づけを年次の状況や時期に応じて実施。	・就職後、その後のデータも気になる。10年後、クラスの何人がこの業界に残ってやっているのか。 ・異議なし ・結果が伴っており素晴らしいと思います。 ・内定率が良い ・優秀な学生は業界でも引く手あまたで就職してくださると本当にありがたいという状況です ・すばらしい成果を上げておられると理解しました。学生の多様化がますます進んでいく中でマンツーマン指導の時間の増加が否めないと思いますが卒業生や保護者など皆を巻き込んだ指導の拡大を期待します ・学校内全職員の連携、共働により高い水準を維持している
	4-14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか	4	国家試験の合格率は以下の通りである。 介護福祉士 令和6年度 97.0% 令和5年度 100% 令和4年度 94.2% 令和6年度 令和5年度 令和4年度 はり師 新卒:82.6% 76.9% 77.8% 既卒:28.5% 25.0% 9.8% きゅう師 新卒: 82.6% 77.8% 85.9% 既卒: 50.0% 40.0% 8.9%	4	入学した全ての学生に目指す資格を取得させるという学園・学科のミッションを達成すべく、個々の学生に合わせた指導体制を強化する必要があると考える。目標達成には初年度教育の充実、また保護者の協力が必要となっている。早期の低学力者対策(個別指導)を導入し、年末年始には対面+オンラインの授業を行うことで、学生の特性に合わせた学習機会の提供が図れた。	・国試合格率最終的には、100%達成を期待します。 ・特になし ・合格率が向上できる様な授業が行われている ・先生方のご指導のもと高い合格率で敬意を表します ・すばらしい成果を上げておられると理解しました。学生の多様化がますます進んでいく中でマンツーマン指導の時間の増加が否めないと思いますが卒業生や保護者など皆を巻き込んだ指導の拡大を期待します ・学校内全職員の連携、共働により高い水準を維持している
	4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	4	卒業生の活躍は就業先からの評価や役職への登用、独立開業者の増加、実習指導の出来る卒業生の増加などから評価できると考える。前年度、前々年度卒業生の動向の確認などを定期的に実施していることから把握していると考ええる。	4	就業先において役職への登用や起業した卒業生へ講師依頼を行い、WEBによる講義・演習等を実施している。	・特になし ・把握している ・卒業生は高い能力で各ポジションにて活躍されています ・すばらしい成果を上げておられると理解しました。学生の多様化がますます進んでいく中でマンツーマン指導の時間の増加が否めないと思いますが卒業生や保護者など皆を巻き込んだ指導の拡大を期待します
	5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4	就職支援機能を学科内に置き、各業界を熟知した専任教員が学生への就職支援相談を実施している。	4	就職支援に関しては関係する法規やマナー、面接技法などを授業で指導している。また就職に関する調査アンケートを個別に実施し、就職相談や求職依頼に活用している。	・特になし ・専門担当が配置できている ・学生が安心して先生方に信頼を寄せていることが伝わってきます
	5-17-1 退学率の低減が図られているか	3	退学は毎年、発生しているが年度によりその数は異なる。退学の理由としては学力不振が最も多いが、近年では学力不振の背景に心理的な課題や目的意識の喪失が伺える為、退学率の低減に向け様々な取り組みを実施している。令和6年度の退学率は、介護福祉士科が6.5%、鍼灸科が9.1%の実績となった。	3.1	退学率の低減のために学生個人の特性を把握することを目的にサポートアンケートを実施している。サポートアンケート結果は学生個別面談への活用や日々の学生動態と照らし合わせ、学生の変化を察知できるよう努めている。近年、ストレスマネジメント(コントロール)できない学生も増えてきていることも踏まえ、スクールカウンセラーなどの専門職を活用し退学防止に向けた取り組みを行っている。学習面に関しては集中力、思考処理スピード、思考スタミナ、記憶力(音声・文章)、思考過程の言語化力などの基礎学習能力の低い学生の状況に合わせつつも、就業年限というリミットを認知させ適応できるよう放課後等に学習会などのサポートを実施している。	・介護40名に対し退学率が6.5%に対し、鍼灸30名→9.1%。通学年数が2年と3年の違いはあるが介護科より退学率を下げるために何が必要か。 ・異議なし ・仕事、学業なに事に楽しみあってこそその意欲だと思います。学生の目線で授業のすすめ方、学校生活の楽しみを見つめ直す機会があっても良いと思います。 ・退学はある程度仕方ないと思いますが、原因が低学力などであればそのPointへのフォロー計画をする様にしてはどうかと思った ・様々な事情があるかと思いますが、入学された方が目標を達成し卒業していかれることを願っています ・数値的な実績が評価の大部分になる感がありますが、できる対策を着実にやり切ることがその評価だと考えます ・様々な取り組みが行われており、特に問題は見当たらない
	5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	4	学習面、メンタル面・健康面、経済的な問題などの相談を各所で受け入れる体制を整備し、有効に機能させている。必要な学生には、学内のスクールカウンセラーを利用。カウンセラーと教職員がチームとしてアプローチし、問題の解決にあたっている。	4	学生の多様な問題に対応するため、サポートアンケートの活用、教職員のスキルアップ研修、カウンセラーとクラス担任との連携の強化などを行う。最近はスクールカウンセラー(相談室)の利用希望者も増えている。また合理的配慮案件の学生も毎年複数名存在し、入学前より本人並びに保護者の方を面談を実施し、双方のすり合わせを実施している。	・異議なし ・特になし ・サポートアンケートが実施できている ・スクールカウンセラーが気がねなく利用できる(利用希望者が増えている)のは今の時代に沿っていると思います ・スクールカウンセラーの設置等、体制の整備については大いに尽力されていることが窺えます ・体制の整備、教職員のカウンセリングを含むスキルアップの取り組み等が適切に行われている
	5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか					

5 学生支援	5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4	学生の経済的側面の支援は、フィナンシャルアドバイザー研修を受けた職員によって①入学前②入学後において個別相談を実施している。学費相談を受けた学生個人に応じて、学費支払いと奨学金制度での資金のやり繰りにおいてシミュレーションを実施している。学生支援機構においては借り過ぎ防止にも努めている。健康面については、学校保健安全法に基づき4月の健康診断の実施、必要に応じて再検査の案内を行っている。	学費支援システム・特待生選抜制度・在校生援助奨学金・学びなおし支援金など複数の学校独自の支援制度を活用し、個々の学生の状況に応じたサポートを行う。特に奨学金の借り過ぎ防止の対策と卒業学年においては就職状況も把握することを努めていきたい。また給付奨学金の対象者枠の拡大から対象者学生が増加している。健康面においては、定期健診の受診率は毎年100%を継続しており、再検査指導の入る学生指導を徹底していきたい。	4	・学校独自の奨学金のような制度はつくる事は出来ないのか！？ ・異議なし ・支援の必要な学生ももっと増していくと思います。良い支援体制と思います。 ・個別相談が出来ている。安心して学べる環境整備が出来ている ・学びの希望があっても経済的な面で多様化しており、より一層サポートが必要な時代だと思います ・多方面から学生支援体制の整備について尽力されていることを理解しました ・体制の整備、教職員のカウンセリングを含むスキルアップの取り組み等が適切に行われている
	5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか					
	5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか					
	5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか					
	5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	4	本校のミッションである職業人教育や就職、学生の資格取得実現のためには学校だけでなく家庭を中心とした学校外での学生動向も把握するように努め、問題解決にあたり、保護者との連携の強化を図っている。	入学前に今年度より対面型の保護者説明会を実施。学校の考え方、支援方針と体制をご理解頂き、保護者に学校との協力をお願いしている。欠席された保護者についても資料一式を郵送している。	4	・異議なし ・特になし ・保護者との連携が出来ている ・子どもから親への伝達が難しい年代でもあるので保護者が安心する体制をお願いしたいと思います ・職種特有の情報を入学前に知ることができれば、家庭でのより良いサポートが可能になる ・適切に運用されている
	5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	4	卒業生との（業界）連携はますます重要になってくると考えられ、学科ごとの卒後研修を充実させる必要がある。卒業生からの様々な相談に対し、アドバイス等の支援を実施している。産学連携による再教育に関してはSNSなどを活用し、業界団体また関連職種が開催する講習会等の案内を伝達し参加を促している。	その職種に関わる知識やスキルアップを目的に関連職種・業界が実施しているイベントや研修、講習会など様々な情報を発信している。社会環境の変化が激しい時代に求められているリカレント教育の中で専門職としての資格取得は重要なポイントであると認識している。社会人が入学し、学業を継続できるよう専門実践教育訓練制度指定校の認定継続、認定要件を満たすように努める。	4	・異議なし ・SOMPOケアにおいても産学連携の重要性を認識しており、実習生の受け入れ、交流の機会の提供、新卒採用をさせていただきたいと考えています。一度ご担当者様とお話の機会をいただけますでしょうか？ ・スキルupに取り組んでいる ・社会人入学された学生様を実習で迎えておりますが、とても熱意がありまさしくリカレント教育を実践されていると思います ・適切に運用されている
	5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか					
	5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか					
6 教育環境	6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4	厚生労働省による「介護福祉士養成施設指定規則」、「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設指定規則」に従い、設備・教育用具等を整備している。教育効果を高める為に必要な、ICT環境の整備を進めている。	教育効果とその必要性を検討し、実習施設の拡充、教育用具等の充実をさらに図る必要がある。教室の有線LANおよびWIFI、天井吊り下げのプロジェクトターなどの整備により、視聴覚教材の活用が増えた。	4	・異議なし ・費用の問題もあると思いますが、学生の為にICTの活用をよろしくお願いします。 ・PCを取り入れた授業が展開されている ・教育のDX化はどんどん進めていただければありがたいと思います ・教育機器の充実は、教育効果と直結すると考えるので、すばらしいと思います ・設備、施設は高いレベルで整備されている
	6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4	各学科ともに教育指導要領に従い、学外実習を実施している。	学外実習の目的や学習効果等を実習前に学生に周知するとともに、実習中の学生が抱く疑問や不安に対しては、教員による巡回時に対応している。	4	・異議なし ・特になし ・実習の大切さを今後も伝えて欲しい ・学外実習は手厚く、先生方のサポートもすばらしいと思います
	6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4	想定される災害に対する防災体制は整備されており、緊急連絡メールシステムが設置されている。消防訓練を年1回行っており、評価を翌年に生かし改善している。緊急地震速報対応訓練も行っており、AEDは設置済みで月1回の点検を行っている。また、損害保険などにも加入している。教職員は、AED利用講習会は受講しているが、緊急時に活用できるかどうか定期的な研修を検討する必要があると思われる。	緊急時により近い消防訓練を行うため、各担当者の役割を越えた訓練を通して安全管理体制を強化する。また教職員のうち役職者全員が防火管理者の資格取得しており、安全衛生推進者の資格取得者も増加した。	4	・異議なし ・特になし ・更なる安全性の向上に努めている ・今いつ何が起こってもおかしくない災害の状況ですので形だけでなく真の訓練、BCPの策定が必要だと思います ・防災、安全管理については、左記内容が不可欠で、適切であると思います ・防災、安全管理体制が整備されており、教職員のAED研修や消防訓練なども適切に行われている
	6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか					
7 学生の募集と受け入れ	7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4	兵庫県専修学校各種学校連合会の規定に基づき、募集開始時期、募集内容(入試日程・入試制度・特待生試験・学費明記など)を決めている。入学案内は、三田校と共通のもので、学校・学科・設備・在校生、卒業生紹介・就職支援や実績・オープンキャンパス等が理解できる様に編集し、それを基にホームページも整備している。個人情報保護委員会を設置し情報を管理している。	モチベーションの維持・強化をするために、入学前にはオープンキャンパス→入学前教育を実施し、入学後の授業や学生生活、職業観を意識した形での教育を実施し、スムーズに専門教育に取り組める様していく。 また同時に職業に関する啓蒙活動にも取り組んでおり、業界と連携し、中学生のトライやるウィークでの参加受け入れ機会を積極的に受け入れている。	4	・異議なし ・特になし ・適切に行っている ・モチベーションは維持することが大切なのですがとても難しいことだと思いますが入学前より工夫されていると思います。 ・オープンキャンパス開催の回数や各種進学ガイダンスへの参加回数の増加は、学生募集に対する注力の度合いが窺えます ・適切に運用されている
	7-25-2 学生募集を適切かつ効果的にを行っているか					
7 学生の募集と受け入れ	7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4	学則を基にし、募集要項で明記した入学選考方法通りに選考をしている。各回の選考に関しては、スケジュールを募集要項に明示し、決められた日程に実施している。また、選考終了後は判定会議により可否を確定する。	将来の希望分野への適性をきちんと見極めるため、面談の比重を高めている。結果として学力のみにとらわれない、モチベーションの高い学生確保に役立っている。	4	・異議なし ・特になし ・面接重点で行っている90%のAO ・AO入試が入学の大半であるとのこと。評価が難しいかと思いますが学生の意欲や特性を生かして学生確保を進めて欲しいと思います

	7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	7	る。面接、提出書類、選考試験の結果を踏まえ、将来医療・福祉の業界で働くことに適性があるかを総合的に判断している。	また、AO入試を導入し、学力に捉われず、キャリア教育の一環として、やる気を重視した入学選考を継続する。	7	付はとエがししてエ種体と違ひし故しといひより ・学科、専攻への不適合を防止するための取り組みに工夫されていること、理解しました ・適切に運用されている
	7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4	学納金は、各学科の教育目標達成を目指した学校運営に必要な金額であり、人件費、実習費、施設運営費等に当てられている。 毎年、各学科において教材及び担当講師の見直しを行っており、諸費用の無駄な支出をチェックしている。各学科から提出された案を元に運営会議にて検討され、決定をしている。 また、入学辞退の取り扱いについては、募集要項に明記して対応している。	入学以前の募集要項や説明会において、事前に年間必要額を明示しているため、保護者等に関しては年間支出計画が立てやすい。 また、高等学校在学者に対しても、日本学生支援機構の予約採用のアナウンス(給付奨学金含め)や教育ローンの案内をするなど、学費負担者の立場にたつてのアドバイスを実施している。	4	・異議なし ・特になし ・適切に行われている ・金銭面の明確化は大切なことですのでわかりやすく明示をして質問にも答えられる体制をお願いします ・学費負担者に対するていねいな説明に注力されていることが窺えます ・適切に運用されている
	7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取り扱いを行っているか					
8 財務	8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4	5ヶ年を見越した収支計画は中長期的な視点で考えているため、財務基盤の安定に資するための大規模な計画もじっくりと立てることができ、この方針は今後も続けていく。	安定した運営を継続的に行うため、各学科における1学年の募集定員、介護福祉士科40名、鍼灸科30名、精神保健福祉士科40名、社会福祉士科40名の合計150名の定員充足率100%を目指し、退学率4%以内を目指す。	4	・異議なし ・特になし ・退学率150人に対して6人。定員を充足することが大切である ・安定した収入が高いレベルでの学校経営の基本となると思いますので今後も入学生 の確保をお願いしたいと思います ・財務基盤の安定感、強化体制の整備への尽力が伝わってきます ・適切に運用されている
	8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか					
	8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4	5ヶ年を見越した収支計画を作成しているが、学校、学園本部、理事会・評議員会と複数の機会 でチェックするためにより現実 に即した予算編成になっているもの と考える。学校の財務体制を管理し、健全な学校運営ができるように予算・収支計画は有効かつ妥当な手段として利用されている。	予算→四半期予算実績対比→決算という流れの中で、収支計画が実現可能なものとなり、財務基盤の強化につながっている点が特徴として挙げられる。	4	・異議なし ・特になし ・適切である ・理事会、評議員会でのチェックが形骸化しないようWチェック機能を果たしていただけたらと思います ・財務基盤の安定感、強化体制の整備への尽力が伝わってきます ・適切に運用されている
	8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか					
	8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4	私立学校法に基づく業務並びに財産の状況について監査を実施している。現在のところ、監査報告書は適正な計算書類を作成している旨の意見が述べられており、適正な計算書類を作成している と考える。 監査を有効に実施するため、証憑書類の整理、計算書類の整備、各種財務書類の整理整頓に努めている。	内部・外部両監査時における改善意見について記録し、適切かつ迅速に対応する。	4	・異議なし ・特になし ・適性に行われている。内外の監査が行われている ・内部と外部の監査を経て適切に評価を得ておられると思います。 ・財務基盤の安定感、強化体制の整備への尽力が伝わってきます ・適切に運用されている
	8-31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	4	財産目録、貸借対照表、収支計算書、監査報告書など財務情報公開の体制整備は出来ている。	当法人の財務情報公開に関しては、常務理事が統括し、事務局長が責任者として担当する。また、事務担当者置いて現場対応を行っている。＜公開書類＞1. 財産目録2. 貸借対照表3. 収支決算書4. 事業報告書5. 監査報告書	4	・特になし ・適切である ・HPでも拝見し、しっかりと開示されていました ・財務基盤の安定感、強化体制の整備への尽力が伝わってきます
9 法令等の遵守	9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4	法令や設置基準の遵守に対応する体制作りは、整備されている。カリキュラムや教員要件はしっかりチェックし、教職員の啓蒙として、法令や設置基準を遵守に対する研修を実施している。	監事による毎年の監査に際して、業務監査の対象としてコンプライアンスの実施状況についても監査してもらっている。	4	・異議なし ・特になし ・遵守している ・監事監査は運営上最も大切なチェック機能だと思います。監事の先生は大役ですがよろしくお願いします ・学校は、個人情報 が大量に集まってくる場所ですので、引き続き、コンプライアンス等の整備をよろしくお願いします ・適正な学校運営が実践出来ている
	9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4	学内で個人情報保護規定を定め、個人情報取扱委員会が中心となり運用している。教職員に対しては、個人情報保護責任者は認定CPOアカデミック講座を通して、学校等における個人情報管理責任者として必要となる知識を毎年習得。教職員は、認定CPAアカデミック講座を通して学校等における個人情報取り扱い従事者として個人情報を取り扱うために必要となる知識を習得した。それぞれ更新講習に取り組んでいる。学生と講師に対しては、オリエンテーションなどにおいてITリテラシーについてや個人情報保護について冊子を用いて伝えている。	外部機関の「TRUSTe」より国際規格の認証を獲得し、ホームページ上に明記している。教職員はもちろん、学生と講師に対しても、オリエンテーションなどにおいてITリテラシーについてや個人情報保護について冊子を用いて伝えている。	4	・異議なし ・特になし ・個人情報を適切に守られている ・個人情報の取り扱いは大変重要でひとつまちがうと学校の評価や信頼が一気に地に落ちてしまいますので今後も気をつけて管理いただければと思います ・学校は、個人情報 が大量に集まってくる場所ですので、引き続き、コンプライアンス等の整備をよろしくお願いします ・国際規格の認証取得、教職員に対する研修など、万全の体制で取り組んでいる
	9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4	年1回自己点検・自己評価を行い、学校関係者評価委員会で意見収集し、その結果をホームページに掲載している。	学校関係者評価結果に基づき短期的・中長期的課題の整理を行い、改善に取り組む。	4	・異議なし ・特になし ・適切に運営されている ・ホームページを改めて拝見しましたが、しっかりと情報公開を行っておられるように思いました ・学校は、個人情報 が大量に集まってくる場所ですので、引き続き、コンプライアンス等の整備をよろしくお願いします ・適切に運用されている
	9-34-2 自己評価結果を公表しているか					

	9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	7			7	適切に運用されている
	9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか					
	9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか					
		4	教育情報については、自己評価・自己点検の結果等と合わせてホームページに掲載している。	ホームページに掲載している教育情報については、必要に応じて更新をする。	4	・異議なし ・特になし ・適切に公開している ・ホームページを改めて拝見しましたが、しっかりと情報公開を行っておられるように思いました ・適切に運用されている
10 社会貢献・地域貢献	10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	教育資源を活用した社会貢献については、近隣の福祉施設、高等学校、関連団体とある程度の連携・交流は出来ている。	県内の中学校、高校において、職業理解を深める為の授業の依頼を受け、学科教員による授業を複数実施。また、神戸市立の中学校の「トライやるウィーク」を受け入れ、中学生の職業体験を実施。	4	・異議なし ・特になし ・地域とのつながりを保っている ・介護の職業の魅力をより低学年の時から知ってもらい、憧れの職業になって欲しいと願っています ・社会、地域への貢献は、そのまま学校の評価に繋がることですので、可能な範囲で充実させていって欲しいと思います ・適切に運用されている
	10-36-2 国際交流に取り組んでいるか					
	10-37-1 学生ボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4	神戸市や周辺地域、障がい者施設などのイベントに学生ボランティアが参加している。	参加ボランティア 地域防災ボランティア、地域健康増進事業、ふれあい祭り、神戸マラソンなど ボランティア活動前には事前教育なども実施している。	4	・異議なし ・特になし ・適切に参加されている ・社会福祉法人も地域貢献を必須としておりますので、又コラボなど出来たら嬉しく思います ・社会、地域への貢献は、そのまま学校の評価に繋がることですので、可能な範囲で充実させていって欲しいと思います ・通常の授業、実習とは異なる体験をすることは貴重な経験になる ・今後とも継続的に取り組まれる事を願っています